

# 三重県理学療法士会 新型コロナウイルス感染症影響調査

## 【対象】

三重県理学療法士会の会員所属施設（188施設）  
の代表者・部門長の方

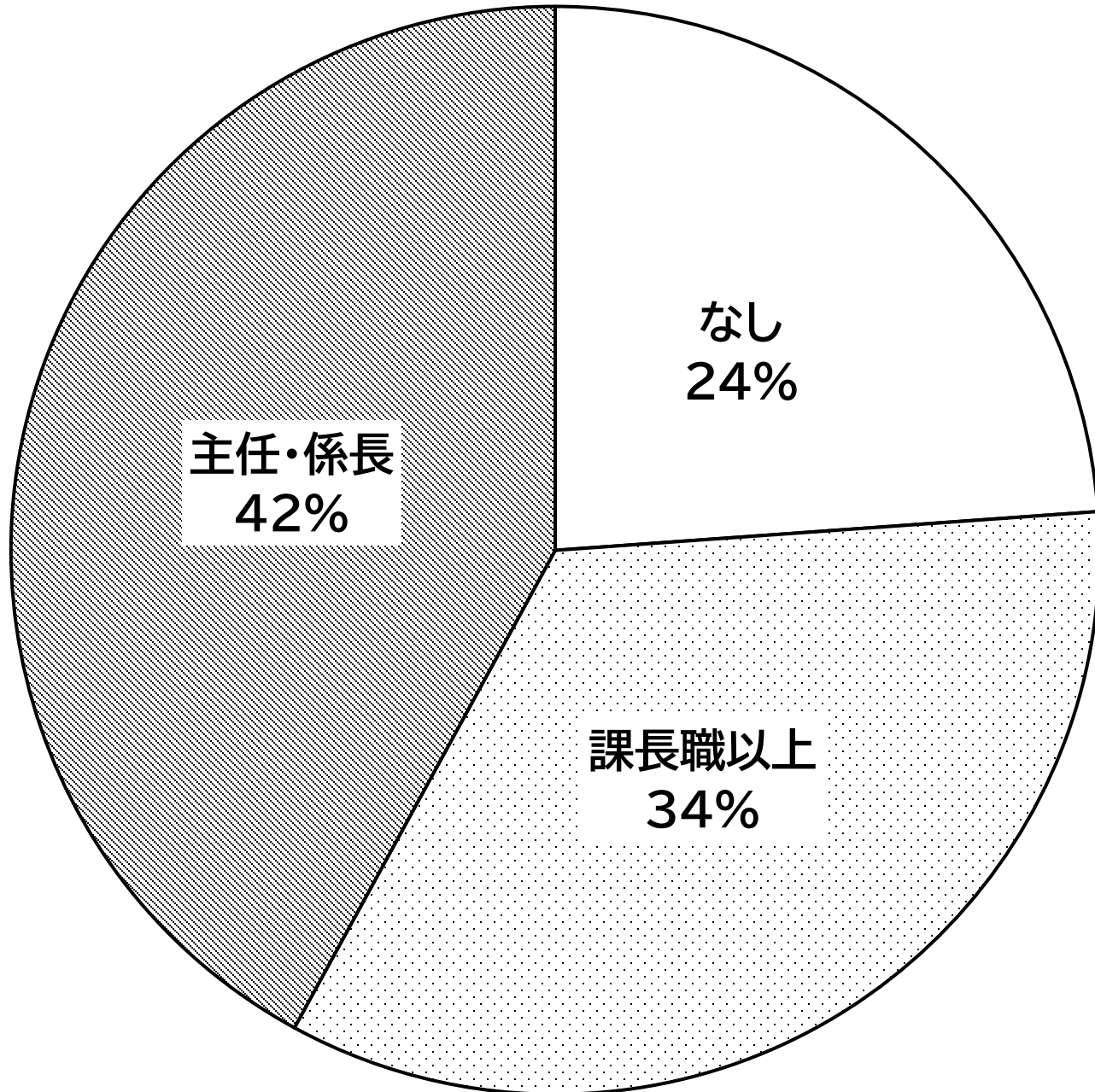
## 【回答数】

88施設・部門

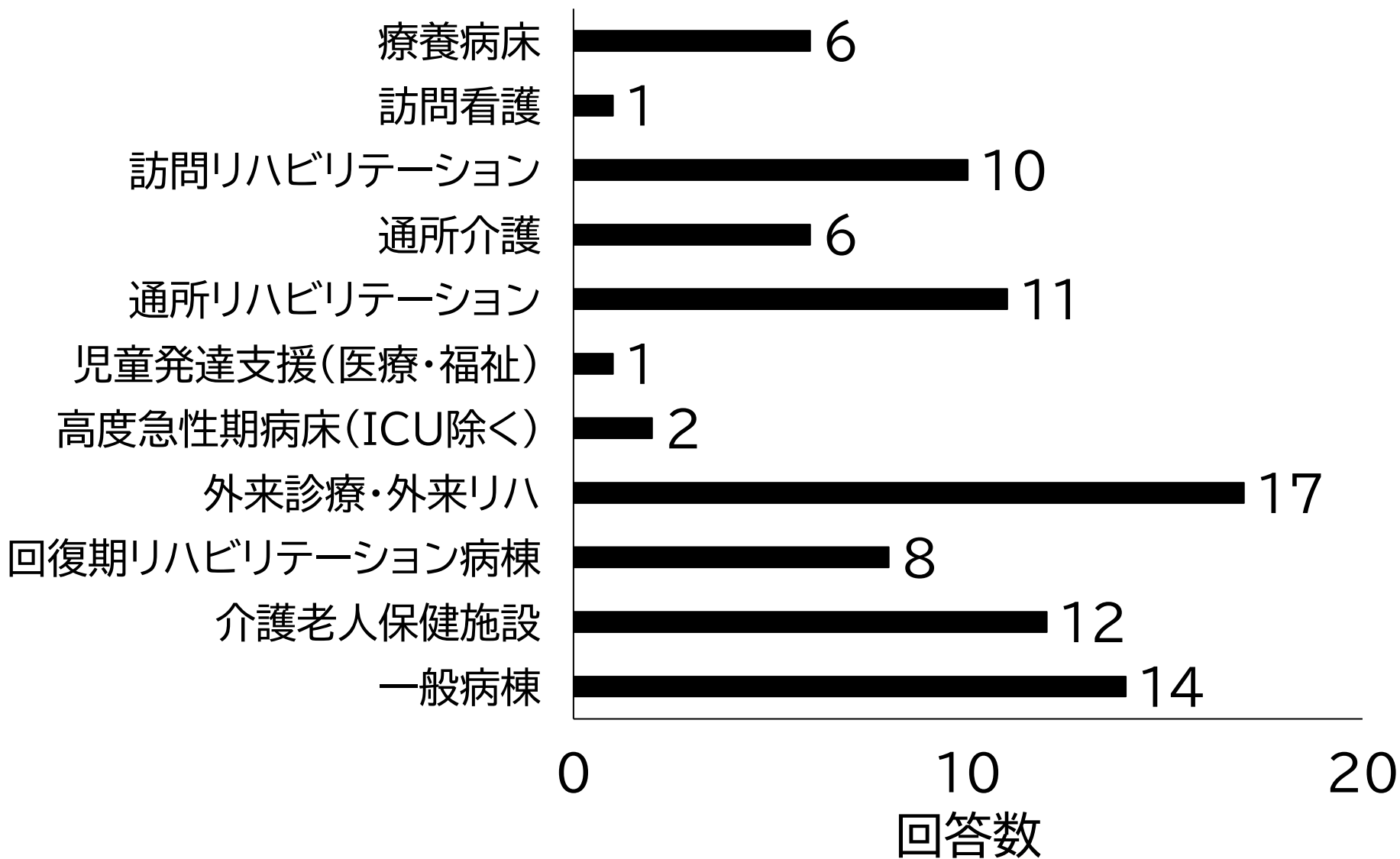
## 【回答期間】

令和2年7月14日～8月20日

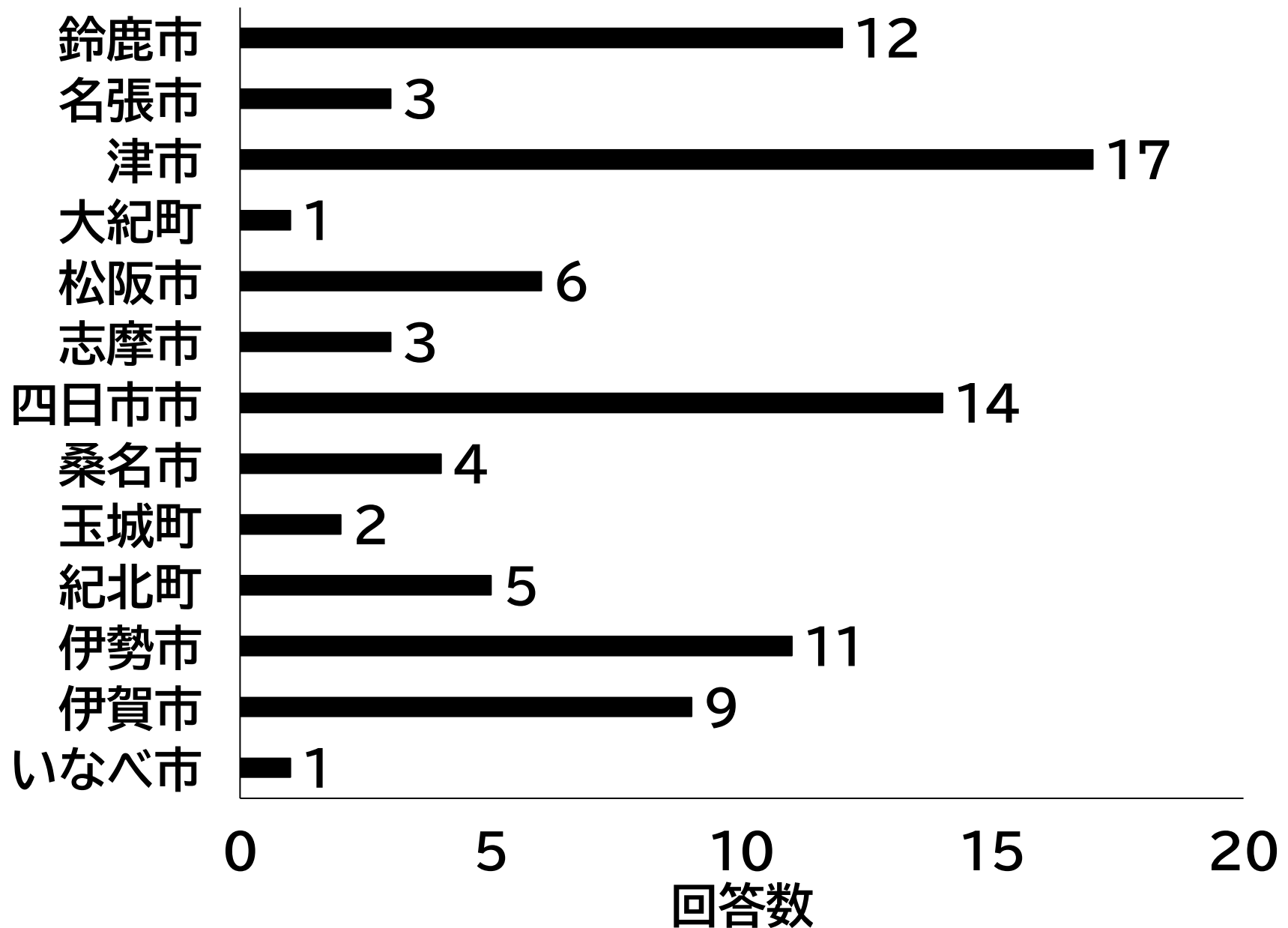
# 回答者の役職をお答えください



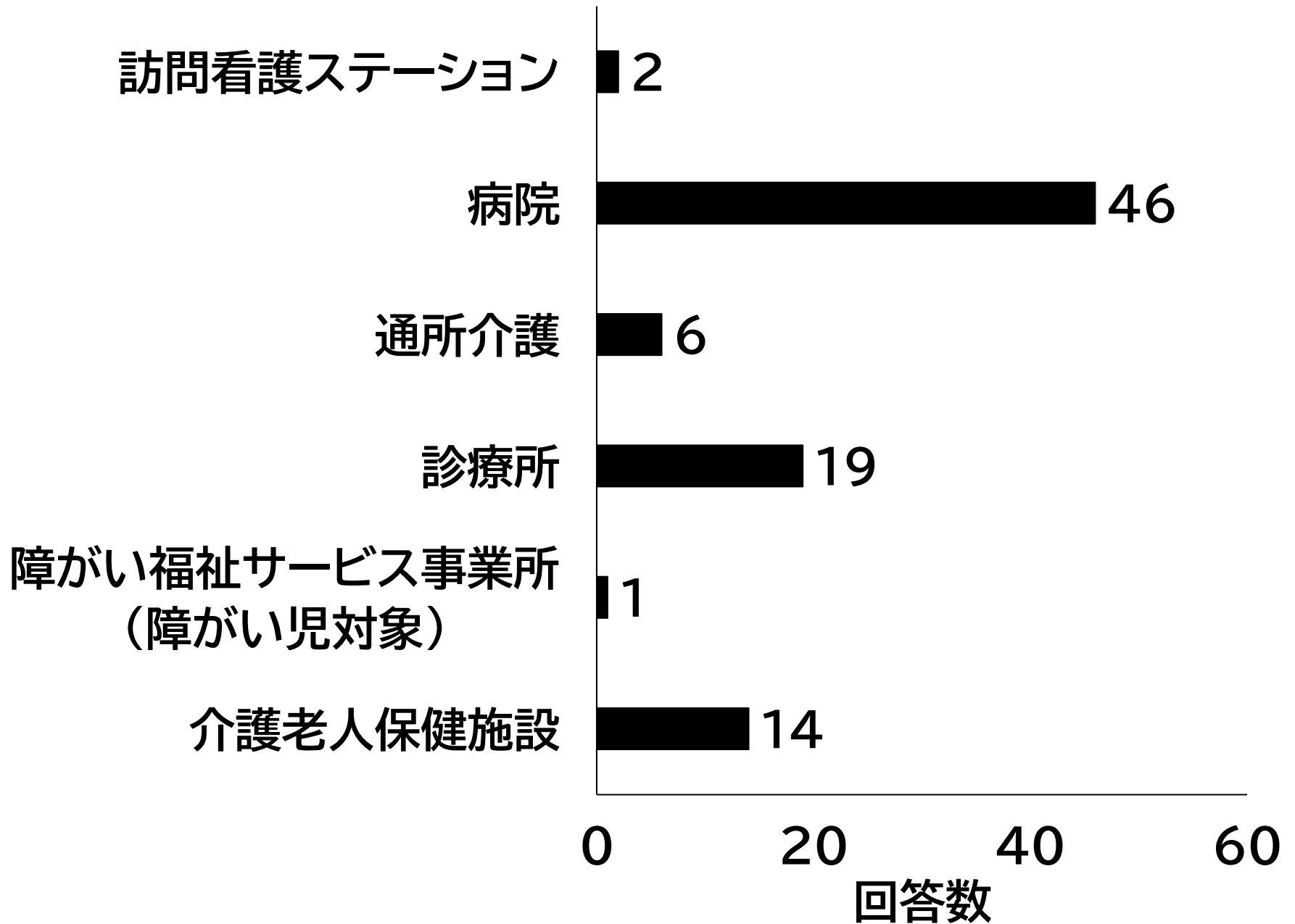
# 回答者の主な配属部署を一つお答えください



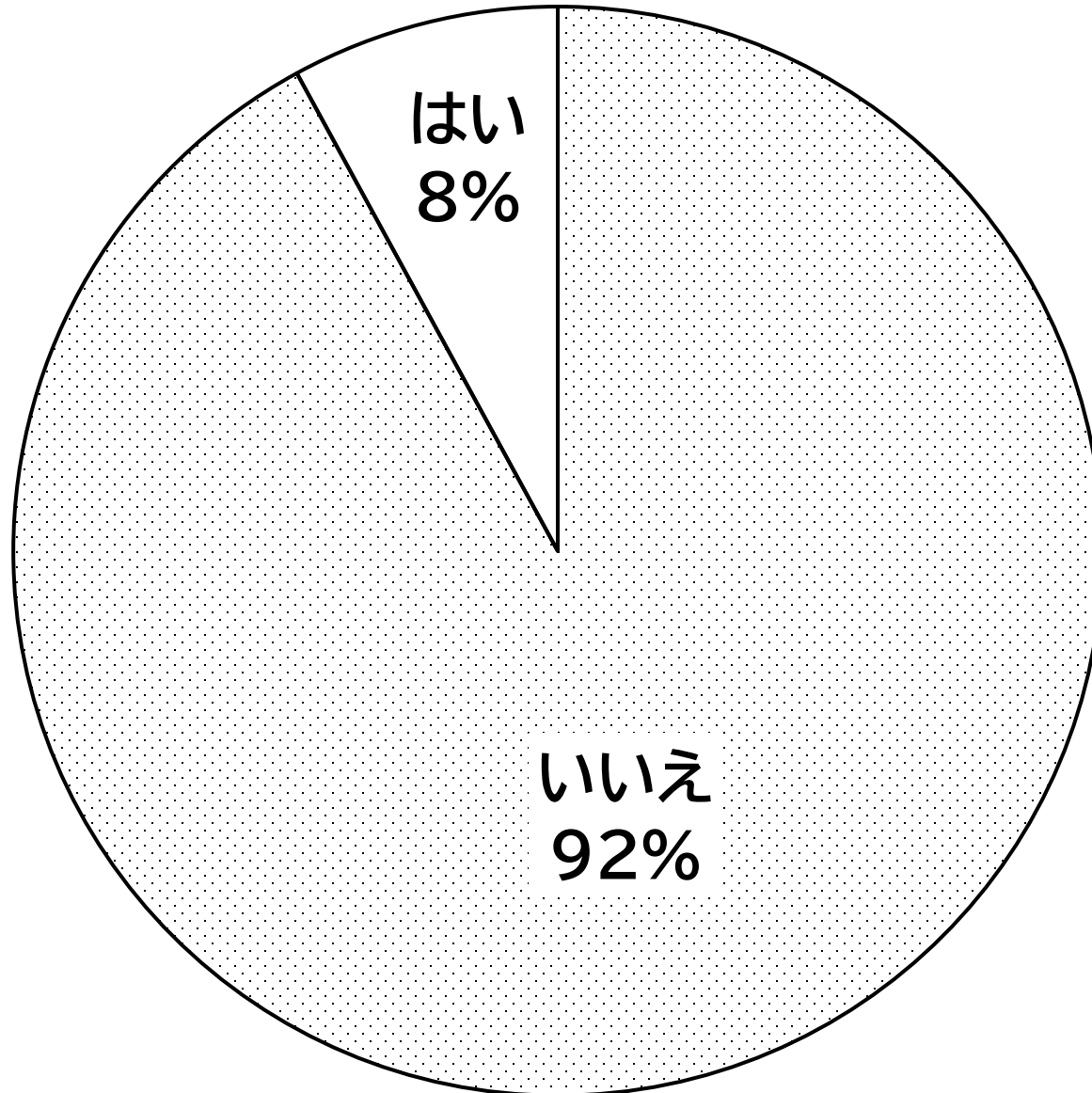
# 回答者の所属施設がある市町をお答えください



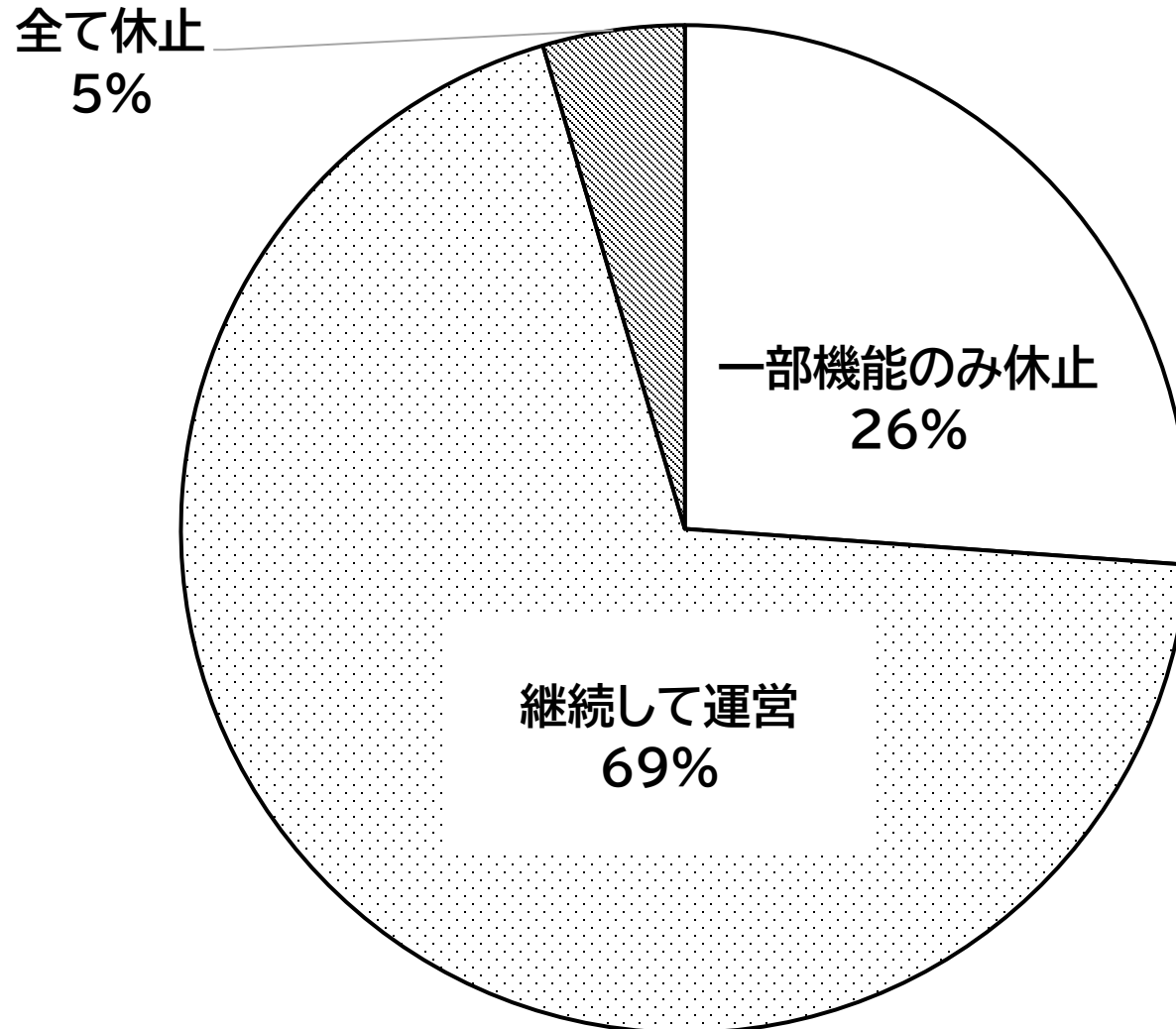
# 施設形態をお答えください



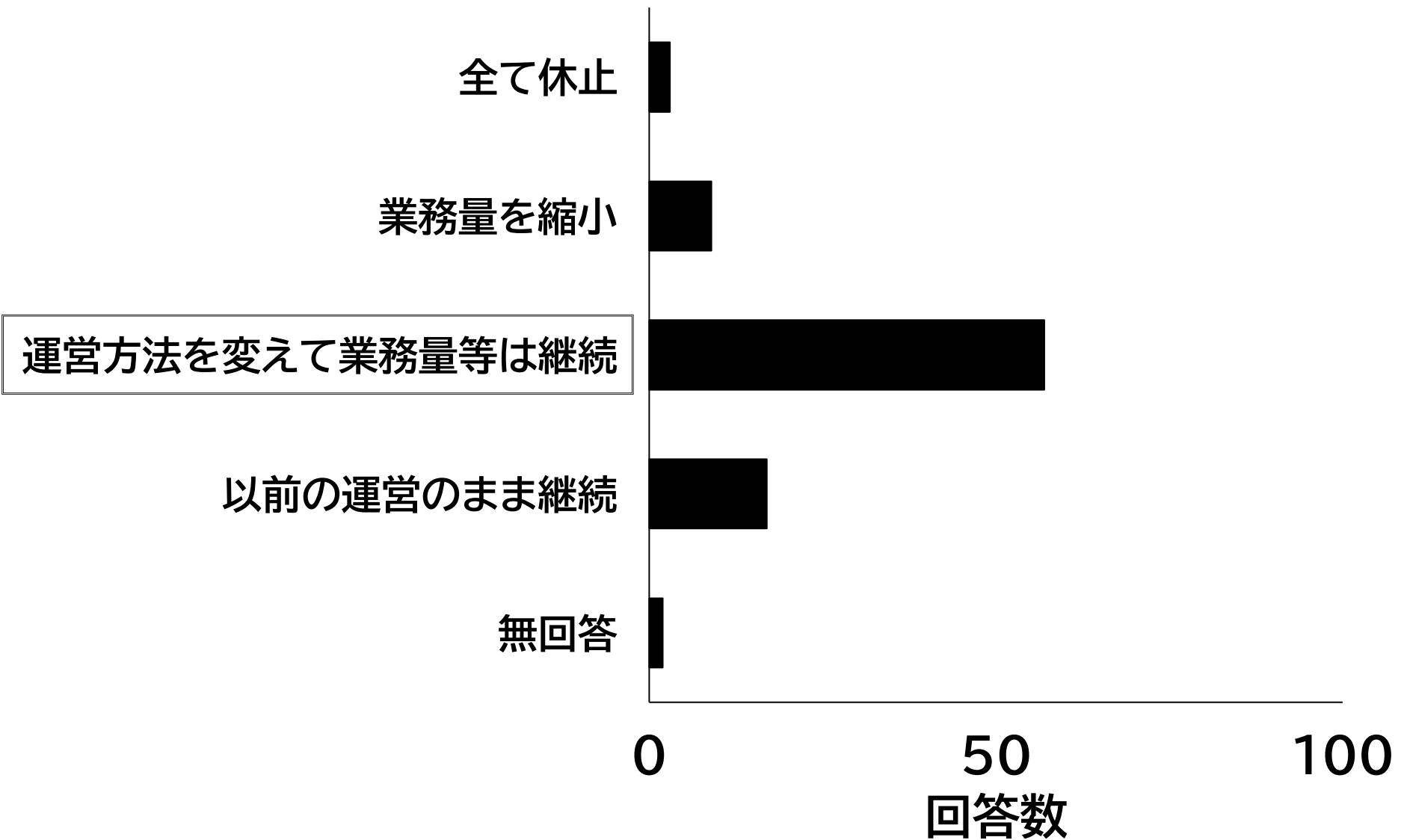
新型コロナウイルス感染症患者を  
施設として受け入れていますか。



# 新型コロナウイルス流行期における 施設の運営方針についてお答えください。

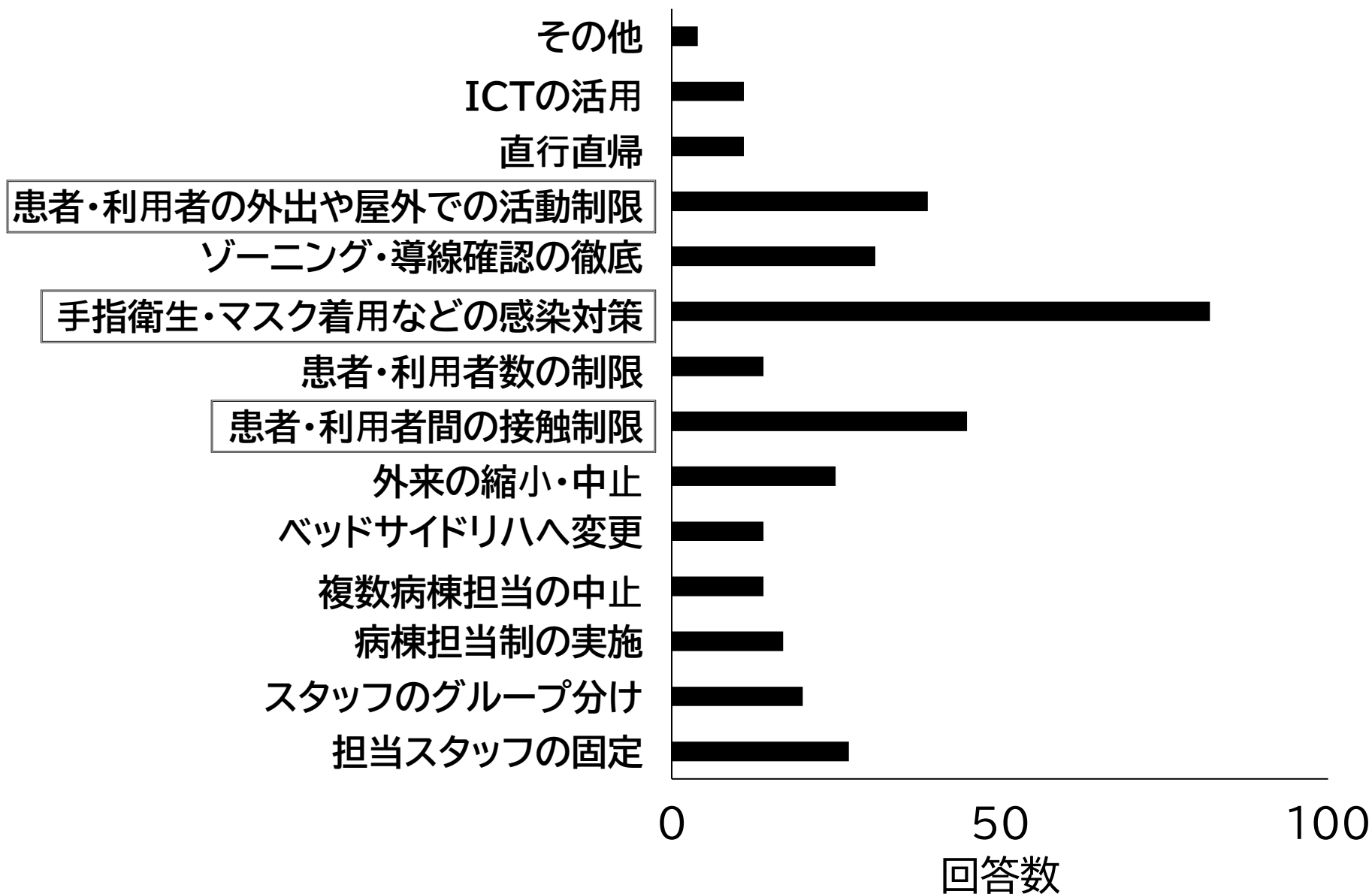


# 新型コロナウイルス流行期における 理学療法の運営方針についてお答えください。

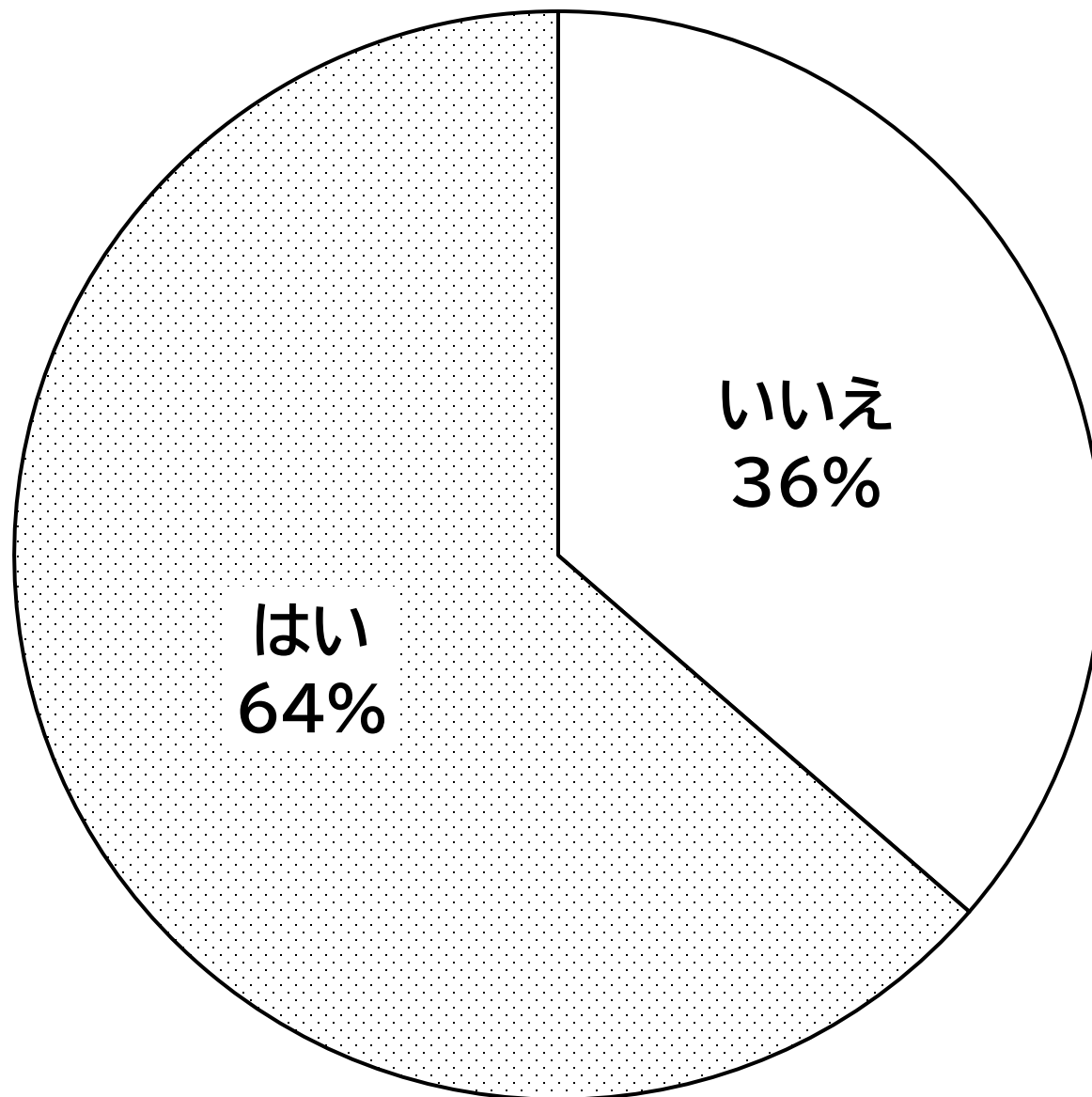




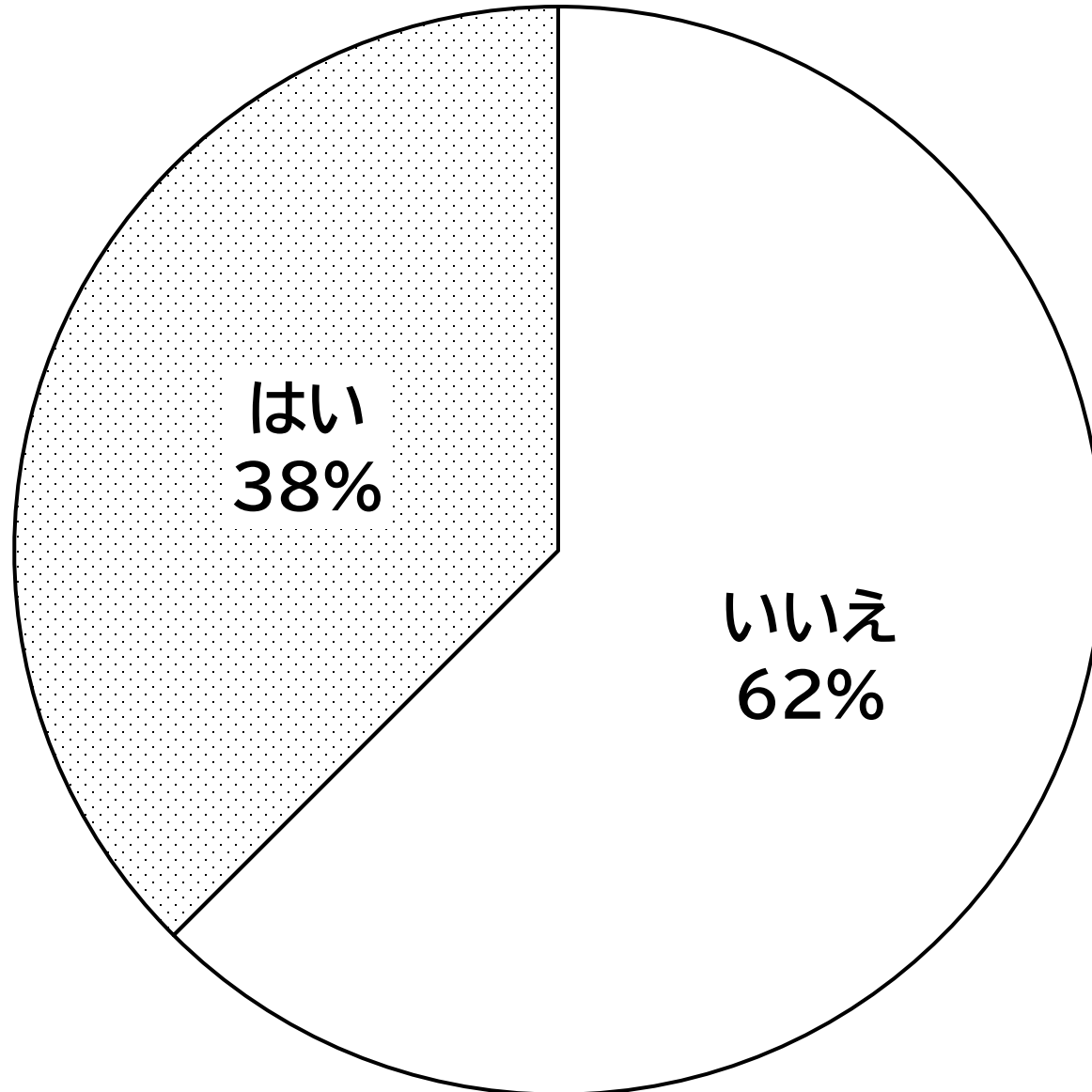
# 新型コロナウイルス流行期における理学療法の運営内容についてお答えください。複数回答可



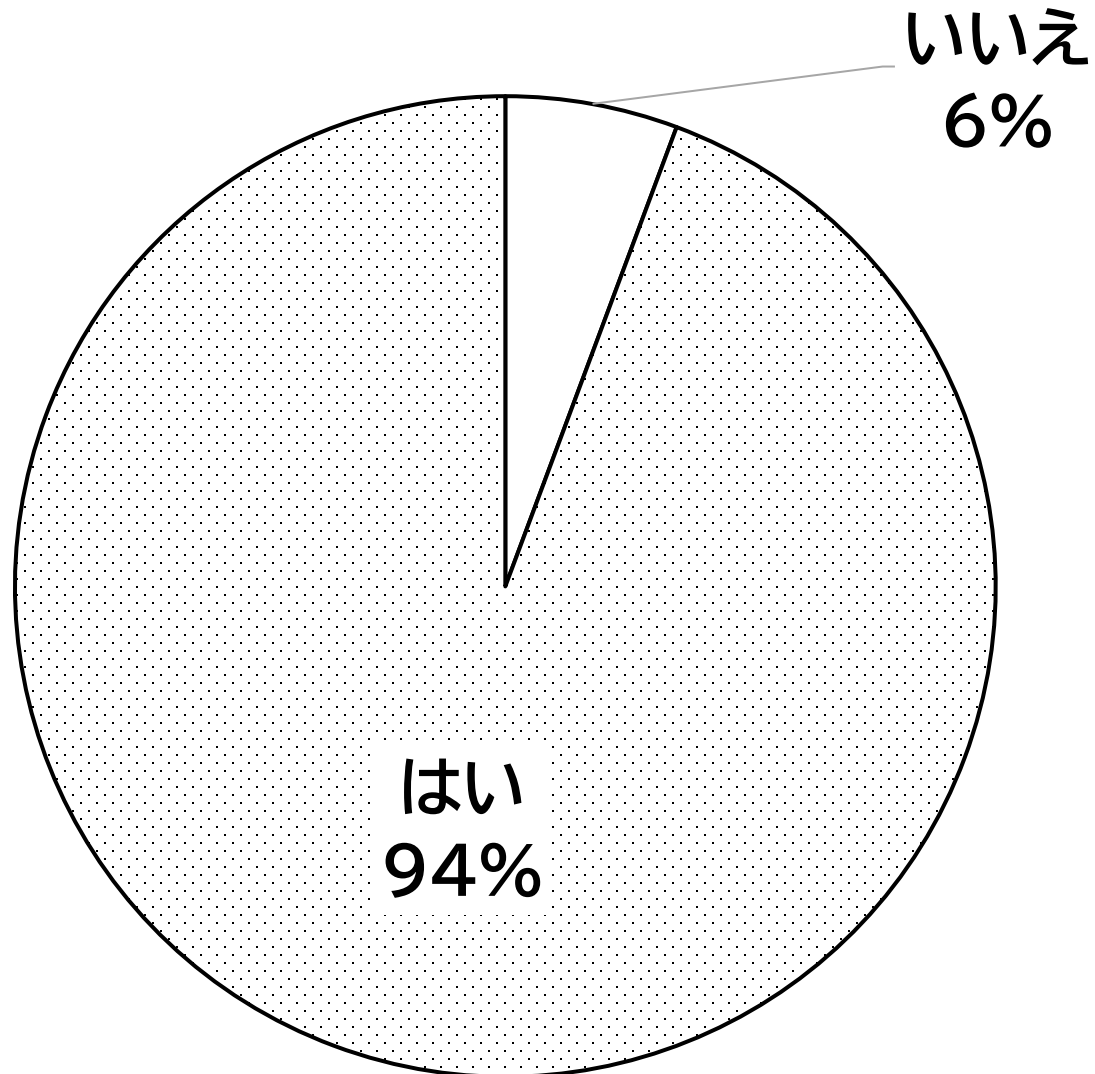
もともと理学療法の感染症対策マニュアルは  
作成されていなかったか。



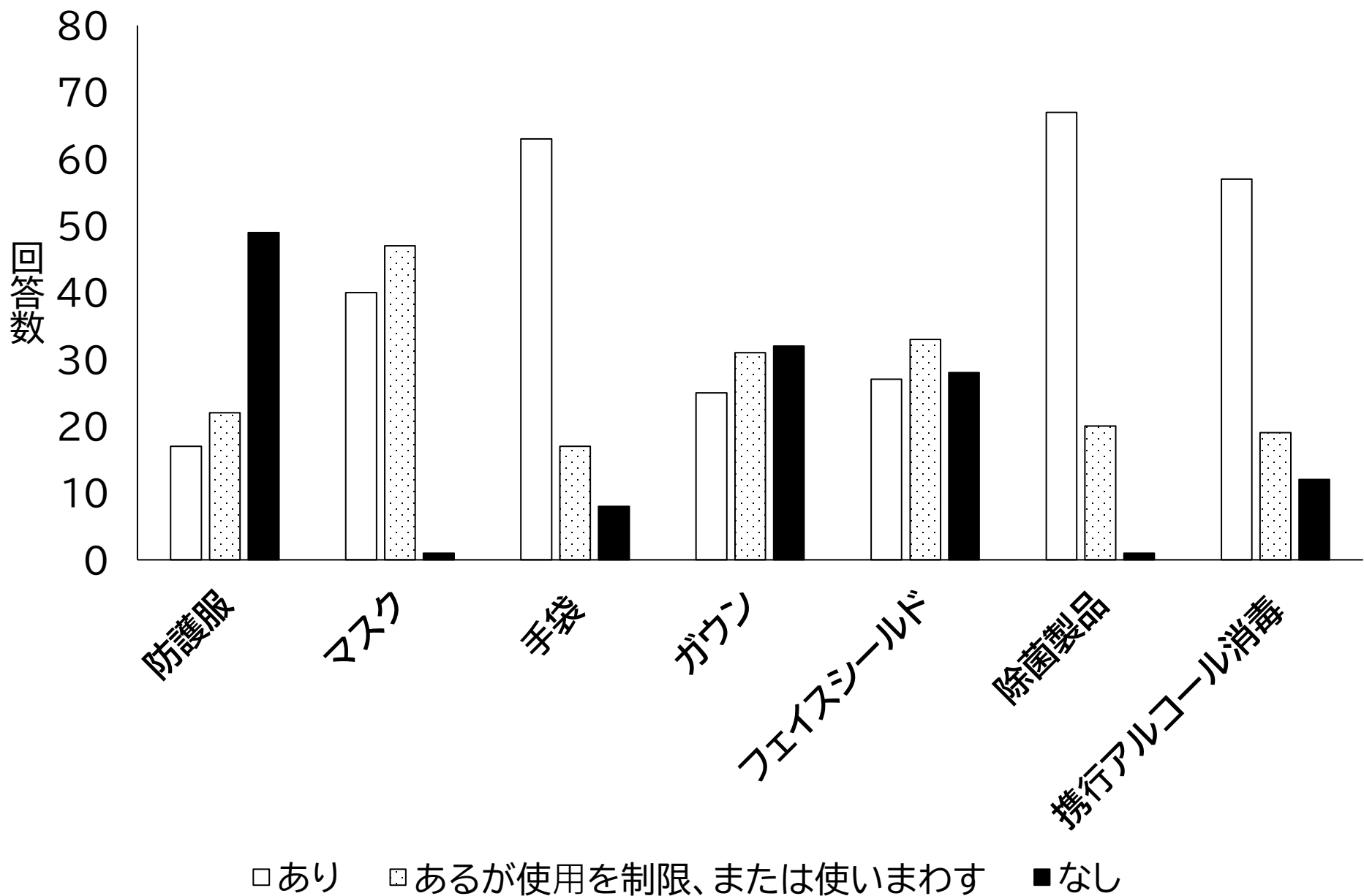
# 理学療法の新型コロナウイルス感染症感染予防対策のマニュアルを作成しましたか。



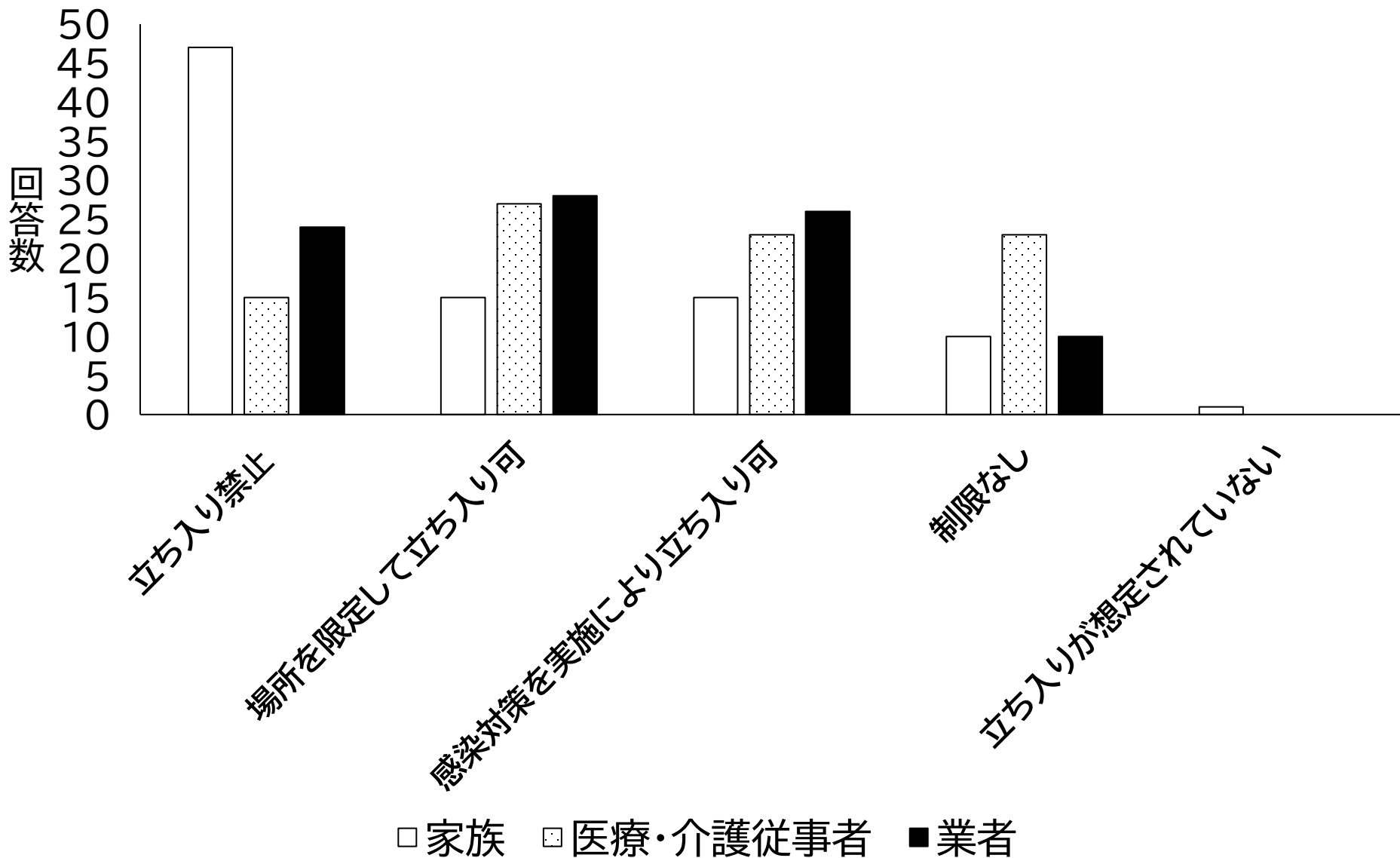
# 新型コロナウイルス感染症感染対策について 感染対策本部(所属施設または法人)からの 指示はありましたか。



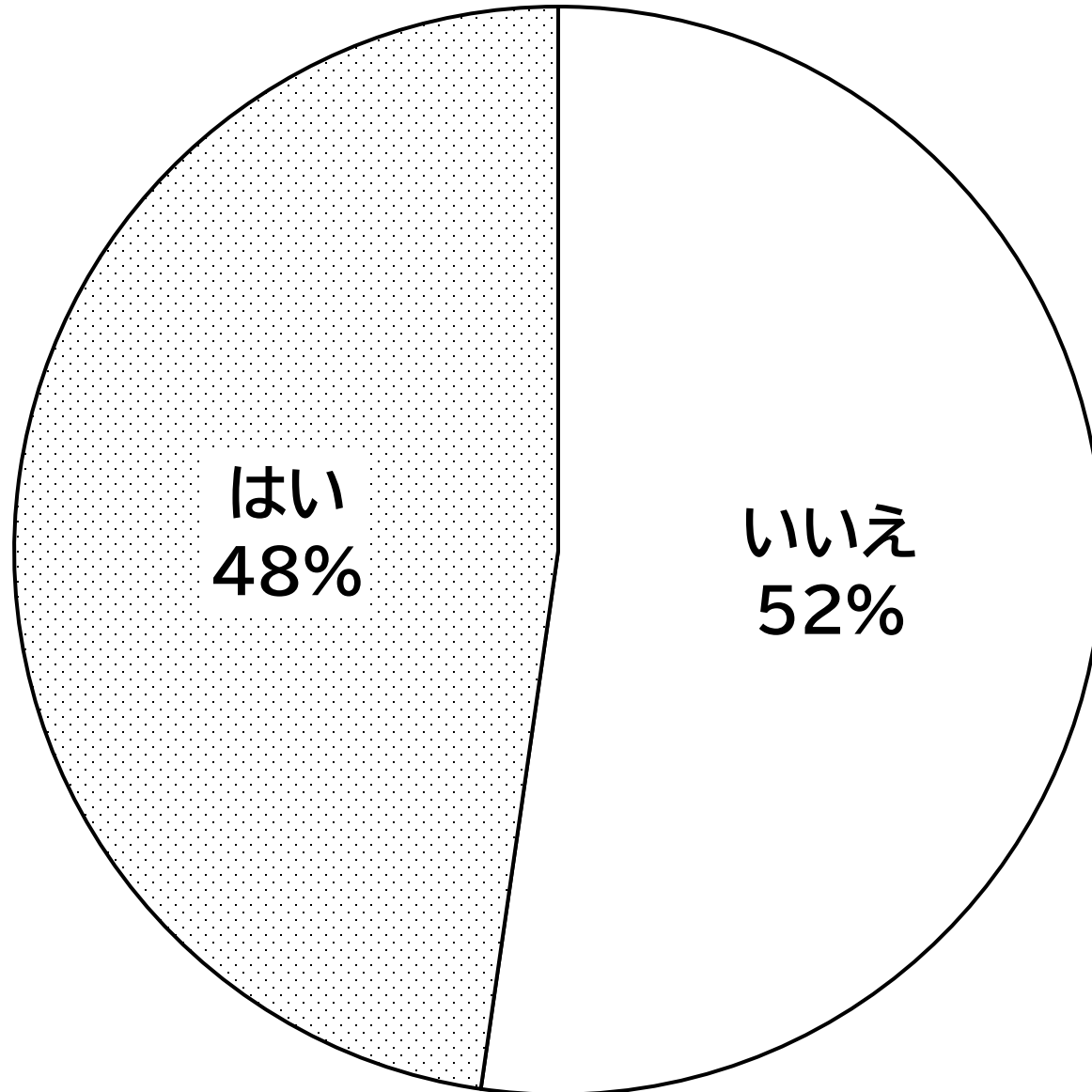
# 新型コロナウイルス流行期における衛生物品の確保状況についてお答えください。



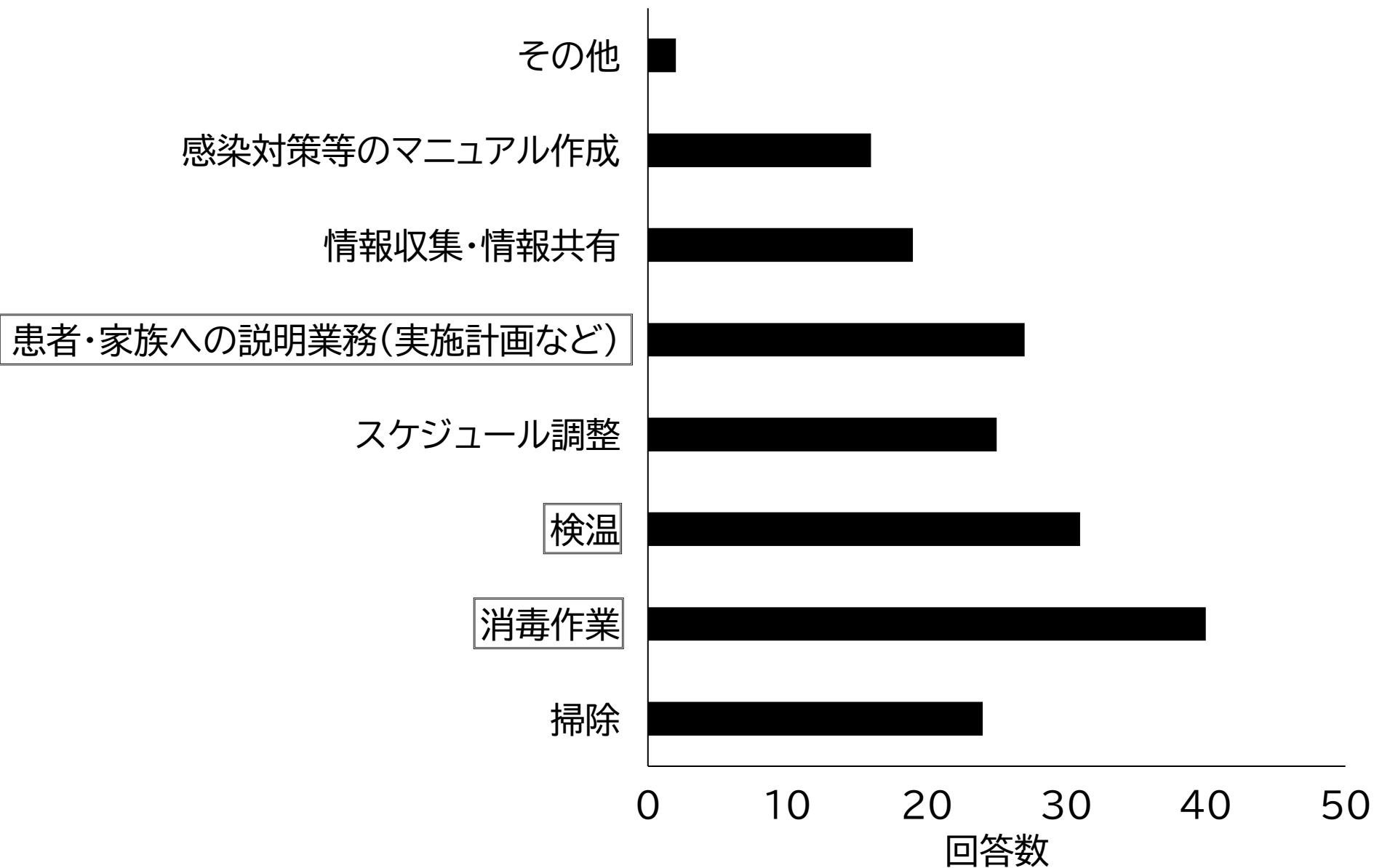
# 新型コロナウイルス流行期における外部関係者のリハ 室もしくは所属部署への立ち入り対応についてお答え ください。



感染防止策対応で  
通常業務が過多となっていますか。

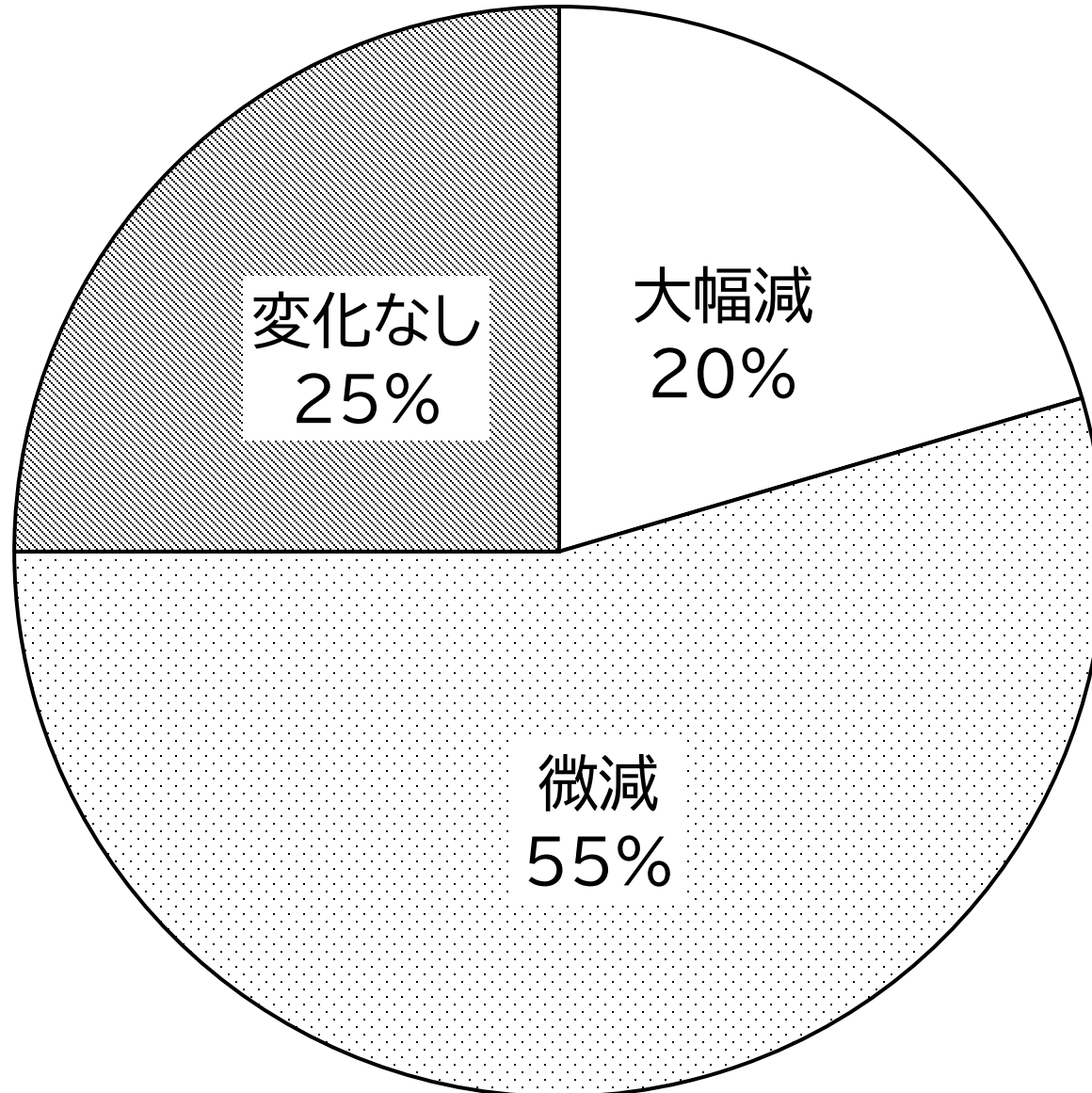


# 業務過多になっている状況について詳細をお答えください。複数回答可

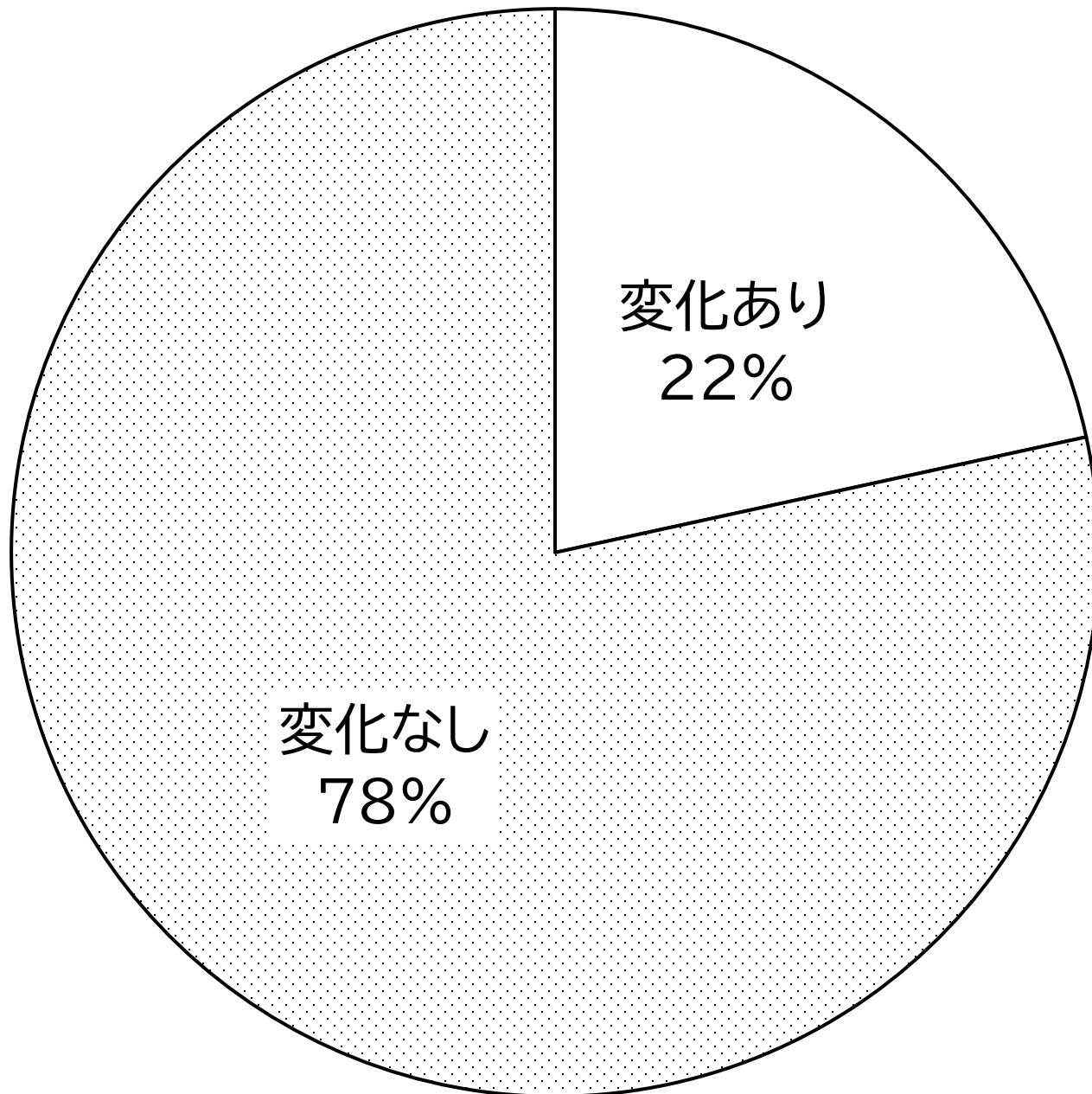




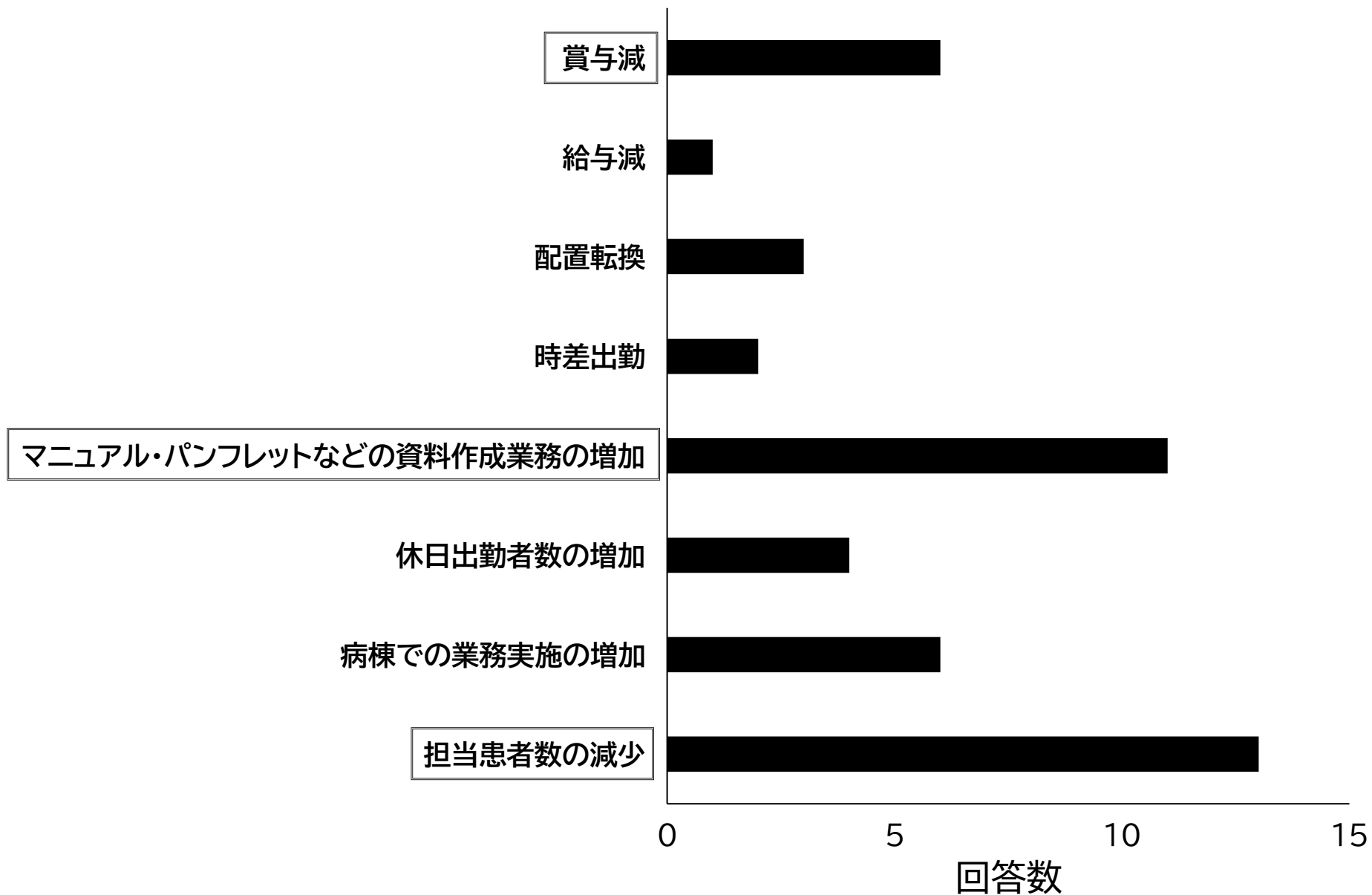
# 新型コロナウイルス流行期における 理学療法の対象者の数は変化しましたか。



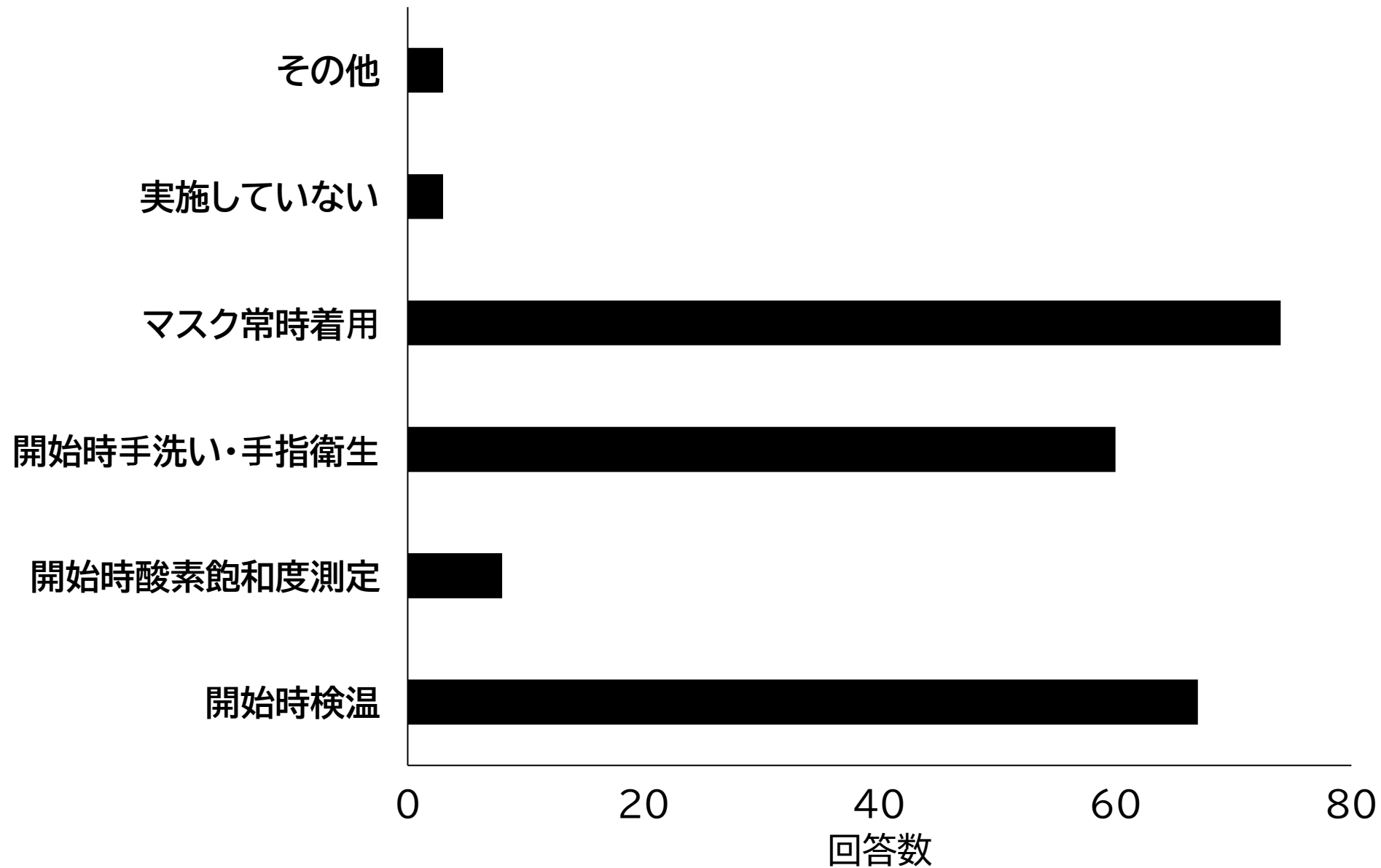
# 理学療法業務や処遇に変化はありましたか。



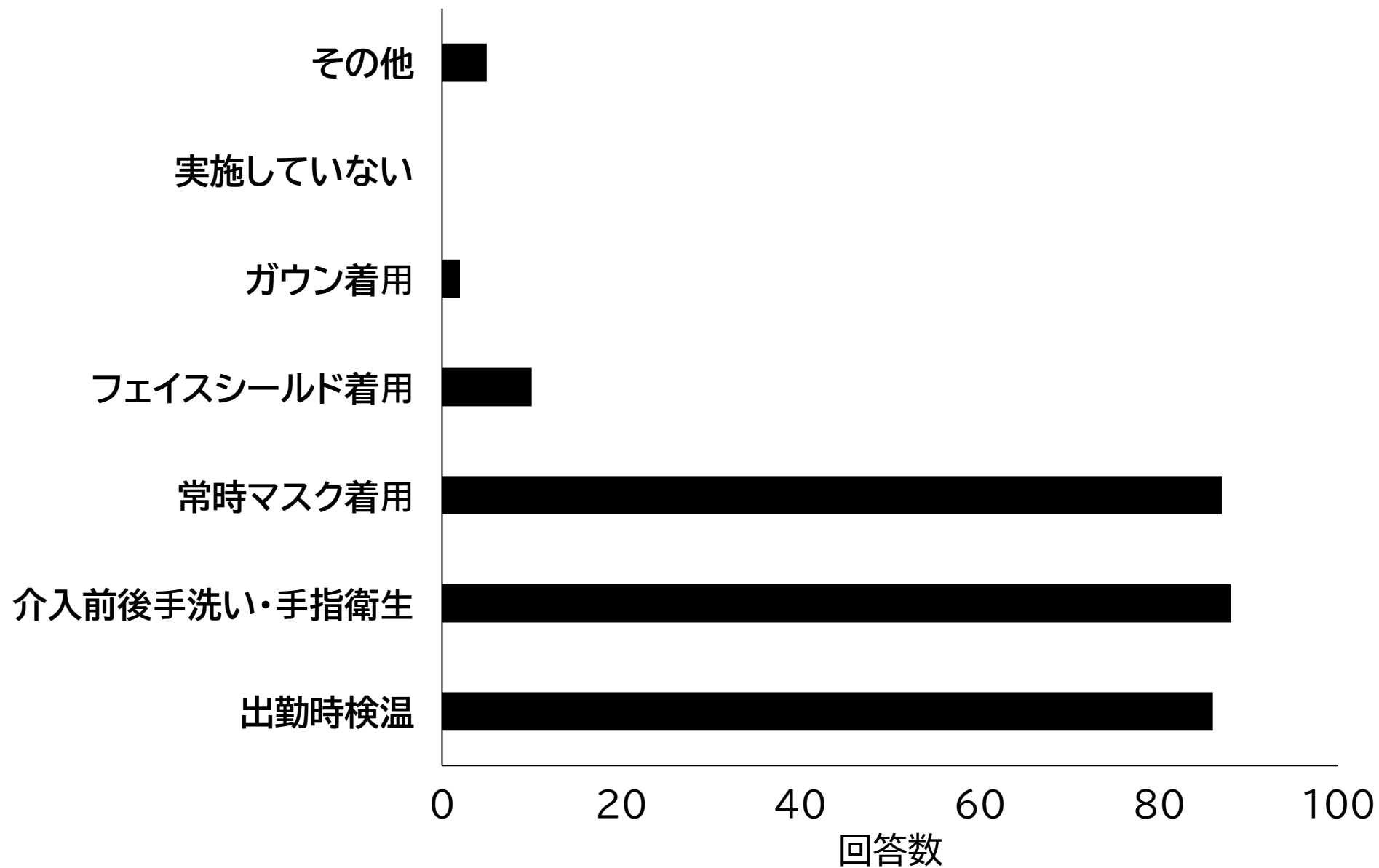
# 理学療法業務や処遇に変化がある場合、どのような変化であったかお答えください。複数回答可



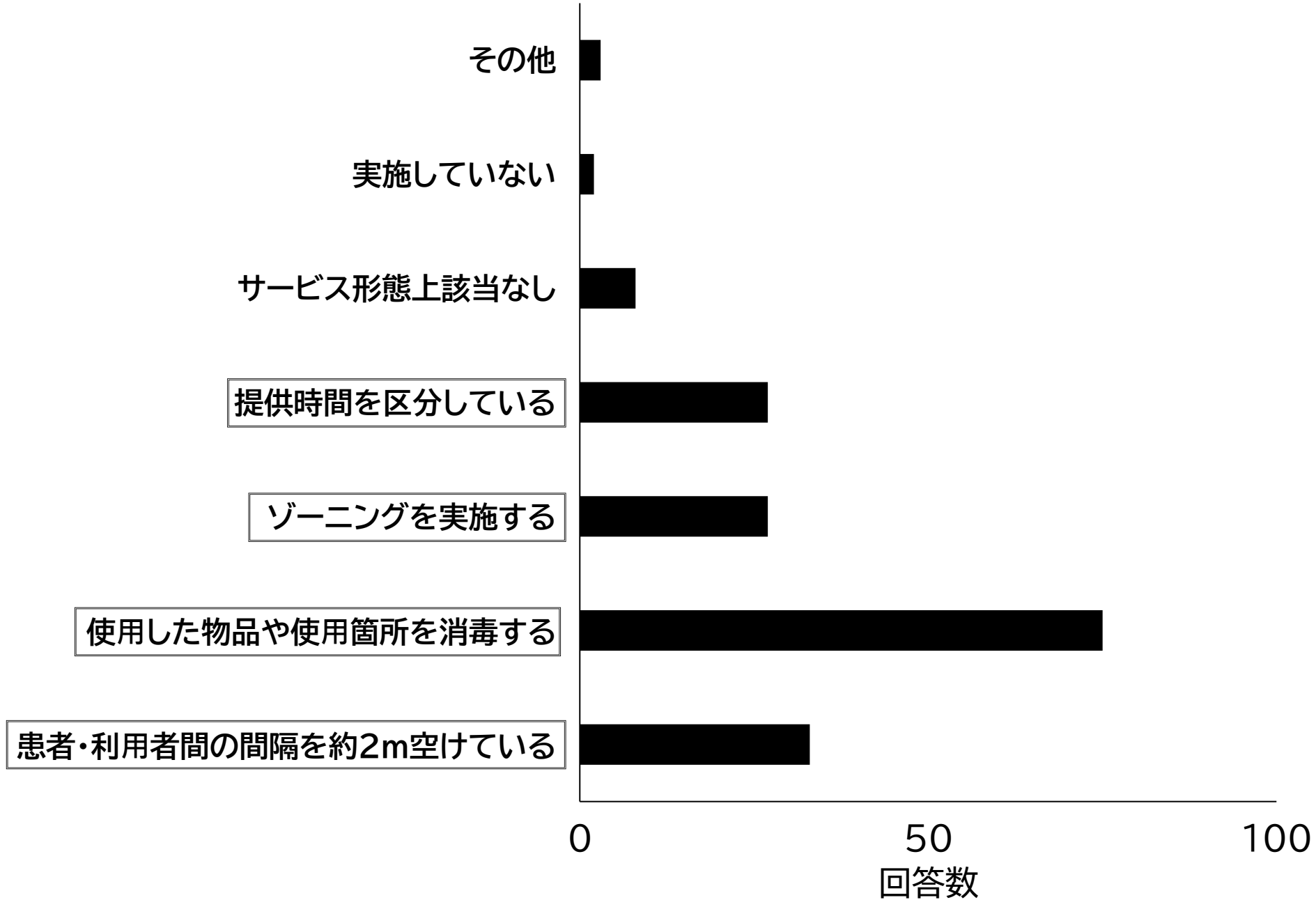
# 患者・利用者に対する、理学療法実施体制における対策をお答えください。複数回答可



# 職員に対する、理学療法実施体制における対策をお答えください。複数回答可



# 環境設定における工夫はありますか。複数回答可



感染症対策について気になっていること、困っていることはありますか。

- ・訪問リハ時、流行地域との接触があった方が見えたりすること。
- ・マスクや体温などの協力が得られにくいケースもあること。
- ・学生の扱いについて
- ・患者・利用者の同居家族が県外へ仕事に行っていることや、家族の県外からの帰省が日常的にみられ、どのように感染対策をおこなっていくか迷うときがある。
- ・無症状感染者への対策
- ・スタッフの心理的負担が大きいこと
- ・マスク等自己負担
- ・流行地域からみえるご家族への対応
- ・手袋の使い回しを勧められることがある
- ・受診控えも多くなっているが、適切に判断されず重症化に至るケースもあるのではないか。
- ・感染症対策で忘れられがちですが、外出自粛等による閉じこもり症候群の増加が心配です。
- ・市販のマスクやアルコールの数は増えてきたが、有効性が分からない(マスクの通気性、アルコール濃度)
- ・面会制限について 学生の実習受け入れの可否について

感染症対策について気になっていること、困っていることはありますか。

- ・県外や流行地域からみえた家族や実習生の受け入れなどの対応。
- ・職員や職員家族の外出自粛の管理までは難しい。
- ・普通の風邪でも症状が改善するまで出勤停止の指示が出るための人員不足。
- ・外来患者の受診控えによる減収。
- ・療法士人数から複数病棟配置があること。実習生受け入れ対応事項。
- ・行政等とのケア会議などのweb等での実施を提案中だが、話は進んでいないこと。
- ・除菌の物品不足。
- ・職員の人数により、前方からの介助をせざるを得ず困る。
- ・GO TO トラベルでスタッフが関東圏などへ行った場合、通常通り勤務させて良いか悩んでいる。基本的に行ってもらいたくないが強制力はなく、本人の自由である。当施設では帰宅後2週間自宅待機をお願いしているが、そのようなスタッフが増加した場合は事業の継続が困難となる。県としていかない方向で指針を打ち出してもらいたいと思っているが、無理だろうと考えている。
- ・県外等の流行地への移動歴を警戒しているが、患者の来院ごとに毎回確認することが難しい。



新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波への対応に向けて  
今、必要としている支援はありますか。

・衛生材料については、医療機関、介護施設などには不安なく提供してもらえ  
る体制を作してほしい。

- ・マスクやアルコール製剤、手洗い石鹸などの備蓄。
- ・コロナ患者を受け入れていない病院でも感染対策、対応による加算やコロナ陰性後の  
転院患者受け入れによる加算の開設など、収入面での援助。

・PPEの安定した供給。リハビリ科が患者と密接接触して仕事をしていること  
の理解啓蒙活動。

- ・通所リハビリや訪問リハビリなど、業務携帯に合わせた感染防止マニュアルがほしい。
- ・介護基本報酬全体の底上げ

・感染防止の備品

- ・職員の応援
- ・風評被害対策
- ・GO TO トラベルでスタッフが関東圏などへ行った場合、通常通り勤務させて良いか  
悩んでいる。基本的に行ってもらいたくないが強制力はなく、本人の自由である。当施設  
では帰宅後2週間自宅待機をお願いしているが、そのようなスタッフが増加した場合は  
事業の継続が困難となる。県としていかない方向で指針を打ち出してもらいたいと思っ  
ているが、無理だろうと考えている。

## 新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波への対応に向けて 今、必要としている支援はありますか。

- ・明確な安全基準。
- ・マスク、消毒、手袋、シールド、ガウンなどの**物資**
- ・ケアマネジャーさんや他の介護サービス事業所と、感染対策の必要性の認識に差を感じています(病院という立場もあり、われわれは外部業者との接触は極力避けたいのですが…)。その部分についてその差を埋めるような支援をいただけると幸いです。
- ・PCR検査の実施
- ・マスクと消毒液
- ・**感染対策備品の安定供給**
- ・給付金
- ・マスクやアルコール製剤、手洗い石鹸などの備蓄。
- ・事業所ごとにマニュアルの内容や対応策が違うので、対応策の統一ができるマニュアル、ガイドラインの整備。
- ・外出を控えるため、活動性が低下したり、通所リハビリを中止している利用者に訪問リハビリでの対応した場合や流行地域家族に対応した場合の特別加算など、収入面の支援。